

環境の状況

II 自然・生物に関するデータ (自然環境調査等)

1 令和6年度昆虫類調査

福岡市における自然環境の現状を把握するとともに、保全・創造施策の基礎資料等とするため、福岡市域における昆虫類の分布状況及び生息状況を調査しています。

目名	糸島エリア	能古島エリア	油山エリア	脊振山エリア	今津長浜エリア	東平尾公園エリア
	R6	R6	R6	R6	R6	R6
イシノミ目	0	0	1	0	0	0
カゲロウ目	1	0	1	0	0	0
トンボ目	17	14	9	9	5	20
ゴキブリ目	2	5	2	0	2	4
カマキリ目	4	5	4	1	2	3
シロアリ目	1	2	0	0	0	0
ハサミムシ目	1	3	0	1	1	2
カワゲラ目	1	0	1	4	0	0
バッタ目	43	44	39	21	34	37
ナナフシ目	2	2	3	1	0	0
カジリムシ目	0	1	2	1	0	0
カメムシ目	117	117	85	68	81	81
アミメカゲロウ目	4	6	5	2	4	2
シリアゲムシ目	0	0	1	5	0	0
トビケラ目	3	1	4	3	0	0
チョウ目	155	148	246	138	70	102
ハエ目	46	54	37	52	37	33
コウチュウ目	159	202	123	143	88	102
ハチ目	61	83	61	44	43	58
—	617	687	624	493	367	444

(単位:種)

注) 「～科」 「～属」 等、種・亜種まで同定していない種は、「平成28年度版河川水辺の国勢調査基本調査マニュアル[河川版] (陸上昆虫類等調査編)」(国交省、2016年)に従い、同一の分類群に属する他種が確認されている場合は計数せず、未確認の場合のみ計数した。

2 カブトガニの保全及び生息調査

標識調査

博多湾におけるカブトガニの生息数や生息域等を把握するため、毎年度6月から9月の4ヶ月間福岡市漁業協同組合の協力のもと、漁業中に捕獲されるカブトガニについて、捕獲数、捕獲場所の記録後、成体には標識を付け、海に再放流し、再度捕獲される数や捕獲場所等を調査しています。

年 度	種 別	雄	雌	計
平成 23 年 度	標識個体数	77	53	130
	再捕獲個体数	53	13	66
平成 24 年 度	標識個体数	16	16	32
	再捕獲個体数	7	0	7
平成 25 年 度	標識個体数	22	19	41
	再捕獲個体数	2	0	2
平成 26 年 度	標識個体数	9	3	12
	再捕獲個体数	8	3	11
平成 27 年 度	標識個体数	37	14	51
	再捕獲個体数	3	0	3
平成 28 年 度	標識個体数	49	17	66
	再捕獲個体数	12	0	12
平成 29 年 度	標識個体数	15	14	29
	再捕獲個体数	12	1	13
平成 30 年 度	標識個体数	38	22	60
	再捕獲個体数	10	6	16
令 和 元 年 度	標識個体数	197	58	255
	再捕獲個体数	70	13	83
令 和 2 年 度	標識個体数	98	66	164
	再捕獲個体数	42	8	50
令 和 3 年 度	標識個体数	95	50	145
	再捕獲個体数	17	2	19
令 和 4 年 度	標識個体数	156	85	241
	再捕獲個体数	30	12	42
令 和 5 年 度	標識個体数	92	70	162
	再捕獲個体数	20	6	26
令 和 6 年 度	標識個体数	54	42	96
	再捕獲個体数	7	2	9

※標識個体：新たに捕獲し標識を貼付した個体

再捕獲個体：捕獲時に既に標識が貼付されていた個体。2回以上再捕獲した個体を含む。

3 みどりの現状

平成 21 年 5 月に市民意見を反映して策定した「福岡市新・緑の基本計画」に基づき、みどり空間確保のための都市公園・街路樹の整備や、市の骨格を形成するみどりや良好なみどりを保全するための緑地保全地区・緑地保全林地区を指定しています。

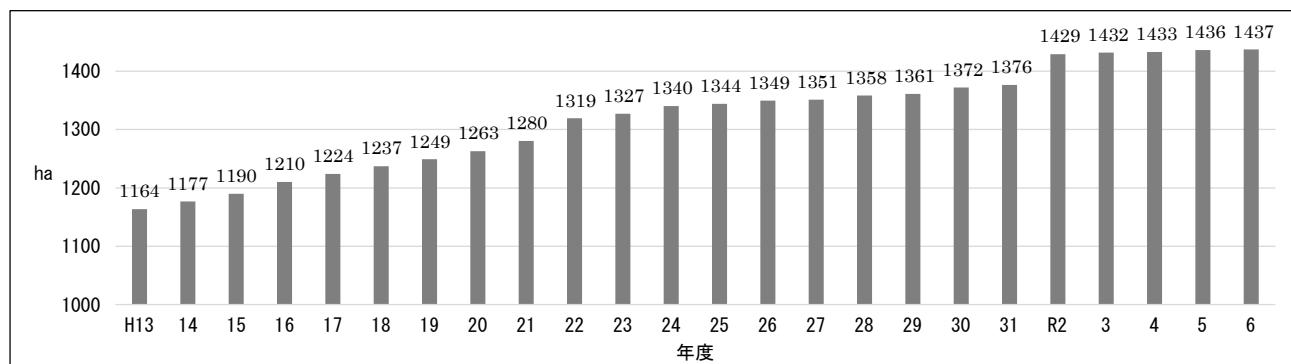
市街地においては、代表的なみどり空間として、大濠公園、舞鶴公園、南公園があり、都市公園の面積は年々増加しています。

●都市公園の状況

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

区分	総 計	住 区 基 幹 公 園				都 市 基 幹 公 園		特 殊 公 園			大 規 模 公 園	都 市 緑 地	緑 道
		幼 児	街 区	近 隣	地 区	総 合	運 動	風 致	歴 史 等	墓 園			
箇所	1,708	661	715	75	10	9	6	13	4	3	1	186	25
面積(ha)	1,436.8	22.1	159.6	122.6	51.8	267.6	103.6	98.8	17.7	60.0	415.9	94.8	22.2

●都市公園面積の推移



●風致地区・特別緑地保全地区・緑地保全林地区・市民緑地・保存樹・緑地協定区域

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

区 分	風 致 地 区		特別緑地保全地区		緑地保全林地区		市 民 緑 地		保 存 樹	緑地協定区域	
	地区	面積(ha)	地区	面積(ha)	地区	面積(ha)	地区	面積(ha)	(本)	地区	面積(ha)
全 市	12	441.3	71	117.5	17	3.15	1	2.8	1644	15	47.3
東 区	3	49.2	14	30.6	1	0.39	1	2.8	133	10	36.3
博多区	2	10.5	8	14.9	2	0.36	—	—	232	0	0
中央区	5	266.5	15	25.3	3	0.35	—	—	190	1	1.9
南 区	1	89.0	22	28.5	6	1.09	—	—	247	0	0
城南区	—	—	2	2.3	1	0.15	—	—	78	1	2.1
早良区	—	—	3	5.6	2	0.48	—	—	367	3	7.0
西 区	1	26.1	7	10.3	2	0.33	—	—	397	0	0

4 水辺環境

市街地の沿岸部は、ベイサイドプレイス博多埠頭やシーサイドももち海浜公園等を整備し、親水空間として活用されています。

市街地中心部を流れる河川は都会のオアシスとしての水辺空間であり、室見川や那珂川河畔の公園は日常生活圏の市民の憩いの場として利用されています。